

## ニセ電話詐欺手口の紹介

### 携帯会社を装った音声ガイダンスから始まる手口

県内では、連日、大手携帯電話会社を装った音声ガイダンスが流れる不審電話の相談が急増しています。今回、不審電話からのだましの一例を紹介します。



#### ① ニセガイダンスが流れる不審電話

**急増中**



1を押して

【電話に出ると・・・】

- ①自動音声ガイダンスで、「『1』を押すように」と指示される。
- ②「1」を押すと担当者（犯人）から「あなたの銀行口座が暴力団員に悪用されている、住所・氏名・電話番号を教えてください。」などと個人情報を尋ねられる。

#### ② ニセ刑事の電話内容（被害者を脅す段階）

【ニセ刑事】

【個人情報を犯人に伝えたと、更に・・・】



あなたに  
逮捕状が  
出ている!

- ①「タナカ刑事」（ニセ刑事）が「ヤマダがあなたの口座を使い、400万円を送金した。あなたにも逮捕状が出ている。」と話す。
- ②その際、「家族や知人に相談すると逮捕する。」と言って脅し、被害者に相談をためらわせる。
- ③「この電話番号に電話をして、ヒロタ検事（ニセ検事）に電話してください。」と被害者に電話を促す。

#### ③ ニセ検事の電話内容（被害者から個人情報を聞き出す）

【ニセ検事】

【ニセ検事に電話すると・・・】



個人情報  
口座番号  
を教えろ!

- ①ニセ検事から「明日から朝と昼に必ず電話をしてください。」と定期連絡を指示される。
- ②定期連絡の際に、氏名や家族構成、利用している金融機関名、一人暮らし等の個人情報を聞き出す。
- ③ニセ検事が「銀行口座の流れを調べるため、口座番号を教えてください。」と強要する。

紹介したケースでは、金銭的被害の前に、被害者が勇気を出して知人に相談し、警察に通報して難を逃れることができました。相談できなかつた場合、保有している現金や金融資産、消費者金融に借金をさせて金を用意させた後に、解決金名目での多額の金銭をだまし取られることが予想されます・・・



## 被害防止のポイント



- 一人で判断せず、家族や警察に相談しましょう！
- 電話の相手に「通話内容を録音する」と警告する詐欺被害防止機器を設置しましょう！
- ナンバーディスプレイサービスなどのサービスを使用しましょう！